

入院のご案内






福山市民病院

Fukuyama City Hospital

〒721-8511 福山市蔵王町五丁目23番1号

電話番号 084-941-5151

 入院日(予定)	年	月	日	曜日
 手術・検査日(予定)	年	月	日	曜日
 入院連絡日	年	月	日	曜日

理念

質の高い安全な医療を通じて「安心と生きる力とやすらぎ」を
地域に提供するとともに、こころ豊かな医療人を育成する

基本方針

(患者本位)

1. 患者の権利を尊重し、十分な説明と納得・同意のうえ、根拠に基づいた安全で質の高い医療を提供します

(人材育成)

2. 地域の基幹病院として、新しい医療技術や知識を常に習得するとともに、専門職としての使命・責務を自覚した、こころ豊かな医療人の育成に努めます

(地域連携)

3. 地域医療機関と連携し、高度で先進的な医療を行い、急性期医療の充実に貢献します

(療養環境整備)

4. 安全で快適な、温もりのある療養環境の整備に努めます

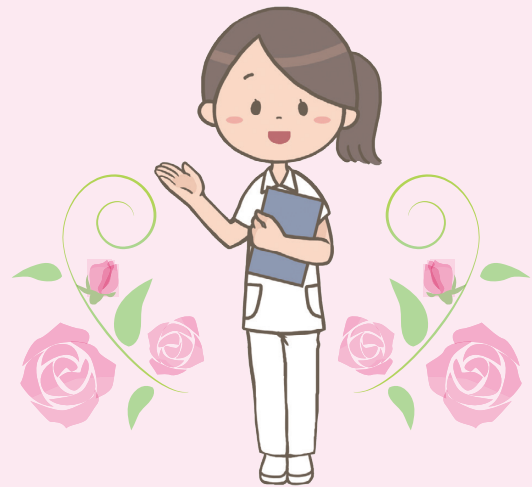
(健全経営)

5. チーム医療の推進を図り、医療人の健康の確保とハラスメントのない職場環境の整備に努めるとともに、効率的な経営管理を行い、自立した健全経営を目指します

CONTENTS

目次

1. 入院手続き	3	10. 退院について	14
2. 入院当日の流れ	3	11. 感染対策にご協力ください	15
3. 入院当日の提出書類等について	4	12. 患者さん・ご家族の方へのお願い	16
4. 入院時に準備するもの	4	13. 福山市民病院の取り組みについて	19
5. 入院診療と看護について	7	14. 施設のご案内	22
6. 入院生活について	8	15. 交通案内	24
7. 入院費について	11		
8. 文書について	12		
9. 相談窓口について	12		



患者さんの権利と責務

当院は理念・基本方針に基づいて、患者さんの権利を尊重し、患者さんへ最善の医療を届けられるよう努力します。同時に、医療を受けられる患者さんと医療を届ける私たちが良い関係を保ち、最良の結果が得られますようご協力をお願いします。

〈患者さんの権利〉

1. 個人としての尊厳が尊重されます
2. 良質で安全な医療を平等に受けることができます
3. 病状や治療、経過、結果について十分な説明を受けて知ることができます
4. ご自分の意思で検査・治療を選択し、決定することができます
5. 個人の情報・プライバシーは保護されます

〈患者さんの責務〉

1. ご自分の健康状態について医療者に正確に情報を伝えてください
2. 診断や治療にあたり納得できる治療方針を決定するため、ご自身の意思を伝え積極的に治療にご参加ください
3. 社会的道徳や病院の規則を遵守し、他の患者さんのご迷惑や医療者の医療提供の支障とならないようにお願いします
4. 受けた医療に対しては、遅滞なく医療費をお支払いください

これから入院

1.入院手続き



- 1) 外来で入院申込書を渡されたら、西館1階・⑦入院受付で入院の申込手続き(入院予約)を行ってください。

※交通事故や仕事上のけがによる入院の場合は、その旨をお申し出ください。

※病床の空き状況により、入院をお待ちいただくことがありますのでご承知ください。

※入院の中止や時間変更は、入院予約された外来の診療科に早めに連絡してください。



⑦入院受付

- 2) 特別室又は有料個室の利用をご希望の方は、お申し出ください。

※「特別療養環境(差額病床)入室申込書兼同意書」を入院当日に提出してください。

特別室 11,000円(税込/1日)

有料個室 4,400円(税込/1日)

*満床時等のご要望に沿えない場合があります。



有料個室(西館)

- 3) 入院時間が決まりましたら、来院時間をご連絡します。

※原則、入院日前日の午後(入院日前日が休日の場合は、直近の平日午後)に連絡します。

2.入院当日の流れ

- 1) 西館1階・⑦入院受付に、入院申込書兼保証書・マイナ保険証(または資格確認書)と限度額適用認定証・医療費受給者証などをご持参のうえ、時間に遅れないようにお越しください。

※休日・夜間の入院は、救急外来から入り、入院予定の各病棟スタッフステーションに直接お越しください。

※入院中、加入健康保険・連絡先などが変更した場合は、すみやかに各病棟の事務員(クラーク)又は総合受付にご連絡ください。



- 2) スタッフが病室を案内し、入院生活の説明をします。

※連帯保証人について

当院は、連帯保証人代行制度を導入しています。「入院申込書兼保証書」に同意していただくことで、連帯保証人を取付けていただく必要がなくなります。

制度利用にあたり保証料負担はありません。

3.入院当日の提出書類等について

書 類	提 出 先
<input type="checkbox"/> マイナ保険証又は資格確認書 <input type="checkbox"/> 限度額適用認定証、その他医療費受給者証 <input type="checkbox"/> 入院申込書兼保証書	西館1階・⑦入院受付
<input type="checkbox"/> 特別療養環境(差額病床)入室申込書兼同意書 (希望者のみ) <input type="checkbox"/> 手術承諾書等(指示された方のみ) <input type="checkbox"/> 診察券 <input type="checkbox"/> お薬手帳又はお薬説明書 <input type="checkbox"/> 服用中のお薬(入院期間内の必要な量だけ) <input type="checkbox"/> ペースメーカー手帳(お持ちの方のみ)	入院病棟の スタッフステーション

4.入院時に準備するもの

1)入院セットについて

当院は、入院患者さんをご家族の入退院時の負担軽減のため、**入院セット**のご利用を推奨しています。

- 入院セットの内容と価格は次のとおりです。

基本セット 1日 404円(税込)



入院セット

<input type="checkbox"/> 病衣(パジャマ・〈救命救急センターは浴衣〉)	<input type="checkbox"/> ヘアブラシ
<input type="checkbox"/> タオル	<input type="checkbox"/> 綿棒
<input type="checkbox"/> バスタオル	<input type="checkbox"/> 歯ブラシ・歯磨き粉
<input type="checkbox"/> ティッシュ	<input type="checkbox"/> ボディーソープ
<input type="checkbox"/> ウエットティッシュ	<input type="checkbox"/> リンスインシャンプー
<input type="checkbox"/> ふた付きコップ・曲がるストロー	<input type="checkbox"/> 入れ歯ケース・入れ歯洗浄剤*
<input type="checkbox"/> 箸・スプーン・フォーク	<input type="checkbox"/> 口腔ブラシ*
<input type="checkbox"/> 食事用エプロン*	*は必要な方にその都度、 それ以外は全ての方に提供します
<input type="checkbox"/> 吸い飲み*	

飲料セット 259円(税込)

ご容態に応じて提供本数を調整する場合があります

・水(軟水)／お茶(ほうじ茶)(600mlペットボトル×2本／日)

※水とお茶から選択できます。1日2本を定数として週3回配布します。

1泊2日セット 1日 759円(税込)

特定の検査や手術のみが対象です

☐ 基本セットの病衣(パジャマ)

☐ 歯ブラシ・歯磨き粉

☐ タオル 1枚

☐ ポケットティッシュ

☐ バスタオル 1枚

☐ 紙おむつ*

☐ 箸・スプーン

*は状態により、利用しない場合もあります

☐ ふた付きコップ

紙おむつセット 1日 473円(税込)

利用者の状態に応じて看護師が使い分けます

*テープ止め・リハビリパンツ・尿取りパッドを必要に応じて使用できます

*契約期間内は何枚使っても定額です

*紙おむつセットは医療費控除の対象です

☐ 紙おむつが必要な方でこのセットを利用しない場合は、ご自身で準備してください

テレビ、冷蔵庫、ランドリーセット 1日 330円(税込)

・テレビ、冷蔵庫、全自動洗濯乾燥機の一式が定額料金で利用できます。(P.6参照)

※カードキーをお貸します。

転倒防止シューズ 1足 1,595円(税込)

※入院セットのいずれかをお申し込みの方のみ

☐ ご自身で準備する場合は、履きなれた運動靴タイプのものをご準備ください(スリッパは×)

✳ 入院当日に申し込んでも、その日からご利用いただけます。

✳ ⑧入院セット受付でご案内しています。



2) ご自身で準備いただきたいもの

☐ 肌着・下着

☐ 電気ひげそり

☐ 補聴器・メガネ・義歯

☐ ゴミ箱(ゴミ袋)

☐ ハンガー

※入院セットを申し込みされない方は、『1)入院セットについて』を参照のうえ、ご自身で準備をお願いします。

私物につきまして、紛失された場合は補償しかねます。

3) お持ちにならないで欲しいもの

- ⊗ 貴重品、多額の現金
- ⊗ たばこ(加熱式たばこを含む)、マッチ、ライターなどの火災の原因となるもの
- ⊗ 電気製品(電気ポット、電気毛布、テレビ、加湿器など)
- ⊗ はさみ、カッター、カミソリ、果物ナイフ、爪切りなど刃があるもの
(※必要な時はスタッフステーションにお申し出ください)

4) 当院で準備しているもの

床頭台(全室に設置)

衣類・日用品等の収納にお使いいただけます。

● 床頭台に付属するセーフティボックス

鍵をかけて貴重品等を保管してください。

※現金・貴重品はできるだけ持ち込まないようお願いします。
万一紛失されても病院は責任を負うことができません。

● 床頭台に付属するテレビ・冷蔵庫

・ 利用には、本館1階の入院セット受付(P.5参照)で申し込みが必要です。

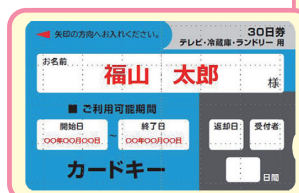
利用料：1日につき330円(税込)

申込時にカードをお渡します。

・ 退院時は、カードキーをカードリーダーに差したままにしておいてください。

※特別室は室料に利用料が含まれています。カードキーは不要です。

※「二人でテレビ(イヤホンアダプター)」を貸し出しますので、ご希望の方はスタッフステーションにお申し出ください。
(利用できない場合があります。)



床頭台

洗濯室(各病棟に設置)

利用にはカードキーもしくは現金〔洗濯100円(税込)、乾燥100円(税込)〕が必要です。

※利用時間 7:00~20:00

※洗剤をご用意ください。



インターネット接続 (フリーWi-Fiサービス)

インターネット接続用のWi-Fi環境を用意しています。どなたでも無料でご利用いただけます。

※利用時間 6:00~22:00

※利用にはメールアドレスまたはSNSアカウントが必要です。

※他の患者さんの迷惑にならないようマナーを守ってご利用ください。

※利用方法、制限事項など、詳しくは病棟の案内をご覧ください。

5.入院診療と看護について

- 担当の医師・看護師は、入院時にお知らせします。
- 医師又は看護師が「**入院診療計画書**」を用いて治療や検査の説明をします。説明後、計画書に署名をお願いします。
- 急性期を過ぎて症状が安定すると、他の病院・医院を紹介させていただきます。患者さんが安心して療養できるように、入院早期から次の療養環境を視野に入れたお話をさせていただきます。
- 入院中（あるいは退院後）、患者さんの症状や経過について、電話での問い合わせにお答えすることはできません。症状や経過は、大切な個人情報です。電話では患者さんご本人であることを確認することが難しいため、個人情報保護の観点から症状・治療についての問い合わせにはお答えしていません。
- 看護師が入院中のことや退院後の生活について、患者さんの抱えておられる問題を一緒に解決していけるよう援助いたします。また、多職種（薬剤師、管理栄養士、理学療法士、医療ソーシャルワーカーなど）を交えた相談も行っています。分からないことや不安なことは、遠慮なくお尋ねください。
- 当院では、7:1の看護体制をとっています。これにより配置された看護師の人数で、夜間や昼間の交代勤務を行っています。各勤務帯の看護ケアの必要に応じて勤務者数を考えています。
※24時間を通して患者さん7名に対して看護師1名が勤務しているということではありません。

患者・ご家族のみなさまへ

現在、全国的に医療従事者の長時間労働が問題となっており、当院においても医師の時間外勤務の改善が求められています。こうした状況から、当院では診療に支障を来たすことのないよう、次のような診療方針を定めています。ご理解・ご協力をお願いいたします。

1. 病状の説明や手術・処置の説明は、原則として平日（月曜日から金曜日まで）の8時30分から17時15分（勤務時間内）に行います。
2. 休日や平日夜間は、当直・当番医師などが主治医の代わりに対応することがあります。

※救急や緊急の状況下においてはこの限りではありません。

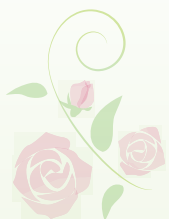
入院中



6. 入院生活について

1 1日の過ごし方

看護師は24時間、患者さんの入院生活のお手伝いをします。
不安なことがありましたら、ご相談ください。



患者さんの安全を守るために、時間毎にお部屋を巡回しています。
不安なことや気になることがありましたら、
遠慮なくナースコールでお知らせください。お部屋に伺います。

2 食事について

- 治療食の方は、病院が指示する食事以外をご遠慮ください。
- アルコール類(ノンアルコール類を含む)の持ち込みは厳禁です。
- 栄養サポートチーム(NST)による栄養管理を行っています。

3 薬の服用について

- 薬については患者さんの症状にあわせて、薬剤師や看護師が説明します。
- 入院中に他院において診察、投薬等は原則認められません。(代理でご家族が受診されるのも同様です)
- 持参されたお薬の服用については、事前に薬剤師や看護師にお申し出ください。



4 外出・外泊について

- 入院中の外出や外泊は、医師の許可が必要です。
「[外出・外泊届出用紙](#)」を提出していただく必要がありますので、スタッフステーションにお申し出ください。
原則、病衣での外出・外泊はご遠慮ください。
※外出・外泊は、感染対策等により禁止となる場合があります。



5 面会・お見舞いについて

- 患者さんの病状によっては主治医の許可が必要な場合があります。面会やお見舞いの方は、スタッフステーションにお立ち寄りください。
- お子様の同伴や一度に多人数での面会、飲食など、患者さんのお体の負担になるようなことはご遠慮ください。大部屋の患者さんで移動が可能な方は、デイコーナーをご利用いただき、他の患者さんの迷惑にならないようにお願いします。
- 風邪気味の方や下痢、はき気等の症状のある方の面会をご遠慮ください。
- 面会・お見舞いの方を案内してほしくない場合は、入院時に病棟看護師長までお申し出ください。
- 面会は、療養上の安静と防犯上の理由から、下記の時間帯にしています。



デイコーナー(西館)

面
会
時
間

一般病棟 集中治療室

13:00~17:00

救命救急センター *家族のみ

12:00~13:00 / 17:00~18:00

※面会・お見舞いは、感染対策等により制限または禁止となる場合があります。

6 入院中お守りいただきたいこと

- 他の患者さんやスタッフに対するセクシャルハラスメントや暴言、暴力行為はおやめください。
- 大部屋では、テレビ・ラジオの視聴は他の患者さんの迷惑にならないようにイヤホンをお使いください。
- 消灯時間を過ぎてからのデイコーナーでの談話、テレビの利用などは他の患者さんの迷惑にならないようにお願いします。
- 無断外出や病院内での飲酒、賭けごとは厳に禁止しています。
- 病院施設、設備などを破損したり、汚したりしないようにご注意ください。
- 当院は、入院及び来院の皆さまの健康を守るため「敷地内完全禁煙」となっています。
- 院内での携帯電話の利用は、医療機器に影響を及ぼすことがあるため制限しています。詳しくは掲示してある「福山市民病院携帯電話使用ルール」をご覧ください。また、他の患者さんの迷惑にならないように、マナーを守ってご利用ください。

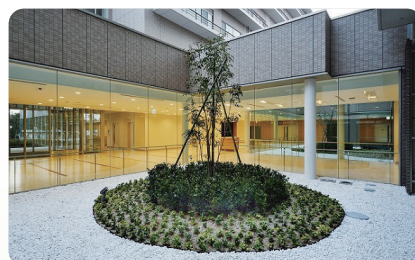


7 付き添いについて

- 看護師は、24時間を交代で勤務しています。そのため、付き添いは原則として必要ありません。ただし、病状、その他の事情で家族の方が付き添いを希望される場合は、看護師にご相談ください。医師の許可のもと「患者付添承認願」をお渡ししますので、記入後提出してください。許可された付き添い以外の方は、病室に泊まることはできません。
- 寝具や簡易ベッドの利用（貸出料210円／日 税込）を希望するときは、看護師にご相談ください。
- 付き添いの方のお食事は、コンビニ・食堂などをご利用ください（病院は準備していません）。
- 病院にお持ちになるものは、必要最小限をお願いします。
※付き添いは、感染対策等により禁止となる場合があります。

8 その他のご案内とお願い

- 病室入口に名前を表示していますが、表示したくない場合は、入院時に病棟スタッフにお申し出ください。
- 当院では謝礼などはお受けしていません。
- 入院中の患者さんの駐車場はありません。お車での来院はご遠慮ください。
- 療養環境の向上を目的として、意見箱を設置しています。お気づきの点がありましたら、ご意見をお寄せください。
- 火災、その他災害の場合、職員の誘導に従って落ち着いて避難してください。非常口の場所は病棟スタッフが案内します。十分確認しておいてください。
- 救急患者や重症患者の治療のために、病状が安定してきましたら、お部屋や病棟をかわっていただくことがあります。



光庭

7. 入院費について

1) 入院料は時間にかかわらず、暦日で計算します。

1泊2日なら2日分の入院料となります。

2) 診療費等諸経費は交通事故等の第三者行為であっても患者さん本人が債務者となります。

3) 診断群分類包括支払制度(DPC)について

当院はDPC制度を導入していますので、原則、入院費については包括払い方式になります。

例外として、労災保険・自費診療・治験・先進医療などは出来高払い方式で計算します。

【包括支払制度(DPC)】

- I) 包括評価部分は、「1日の定額医療費×入院日数×医療機関別係数」です。
- II) 手術、リハビリ、退院処方などは、出来高払いで計算します。
- III) 複数月入院され、症状の経過で治療内容が変更となった場合、退院月に差額調整を行います。

4) 入院費のお支払いについて

- 入院費の請求は、1か月単位で月末締め切りです。翌月10日過ぎ頃に請求書を準備しています。同月内で退院の際は、退院時に請求書をお渡しします。
- 申請中や不携帯など、加入されている医療保険が確認できない場合は、自費での請求となる場合があります。事前に医療相談をお申し出ください。
- 入院費はお帰りの前に、本館1階・総合受付の自動精算機又は会計窓口にてお支払いください。
平日の時間外(17:15以降)及び土・日・祝日・12月29日～1月3日のお支払いは、東館1階「救急・夜間・休日受付」で対応します。この間に退院が決定した場合は、後日の支払いとなる場合があります。
- クレジットカードでのお支払いも可能です。



- 領収書は高額療養費の請求などに必要です。
領収書の再発行はいたしませんので、明細書とともに大切に保管してください。
- 請求内容の訂正により、退院後に入院費の変更が生じた時は、追加の請求又は返金(口座振込)を行う場合があります。

5) 限度額適用認定証について

限度額適用認定証は、ご加入の健康保険の窓口で事前に申請し、認定されると発行されます。ご提示いただくと、1か月の一部負担金(保険診療分)が自己負担限度額までとなります。マイナ保険証をお持ちの方は申請不要です。

【オンライン資格確認システムを利用した資格情報確認について】

当院では、マイナ保険証で自己負担限度額を確認することができます。入院費が高額療養費制度の対象となる場合、本システムを利用することで、自己負担限度額までの支払いとなります。

本システムを利用されない方は入院申込書兼保証書に☑をご記入ください。

6) 入院中の他医療機関受診について

入院期間中は、原則として、他の医療機関(かかりつけの医療機関を含む)を受診することができません。かかりつけの医療機関でお薬の処方を受けることもできません。

入院予定の方で他の医療機関からお薬の処方を受けている方は、事前に主治医にお話してください。

※入院患者さんのことで他院へ家族が面談に行かれる場合は、保険診療とはなりません。

※主治医の判断により、当院では診療を行うことができない専門的治療・検査等が必要となった場合、医療機関同士で調整のうえ、受診することができます。

8. 文書について

診断書やその他証明書が必要な場合は、次のとおりお申し出ください。

- 入院中……………各病棟のスタッフステーション
- 退院当日または退院後……………本館1階・総合受付「①文書受付」

9. 相談窓口について

受付時間 月～金曜日 8:30～17:00

相談方法 面談または電話

費用 無料 予約 不要

※秘密は厳守します。匿名相談可能です

1. 医療相談

医療ソーシャルワーカーが、病気や障がいによって生じる生活上のいろいろな問題に対して、みなさまの気持ちを大切にしながら、一緒に問題が解決できるようにお手伝いします。

主な相談内容

- ・医療費、高額療養費制度、障がい者福祉制度、その他制度について
- ・自宅での療養や退院後の生活の不安
- ・診療内容や職員の対応、病院内でお気づきのこと等

2. 肝疾患相談室

肝疾患コーディネーターの資格を持つ看護師が、肝疾患に関係する悩みや問題に対して、お話を伺いながら、一緒に問題が解決できるようにお手伝いします。

主な相談内容

- ・肝疾患に関する情報提供
- ・肝炎医療費助成制度に関すること
- ・肝炎ウイルス検査に関すること
- ・地域の肝疾患専門医療機関の紹介
- ・病気に関する不安や疑問等

3. 脳卒中相談

医療ソーシャルワーカーなどが、脳卒中で当院に入院中・入院歴のある患者さんご家族への情報提供や相談支援を行っています。

主な相談内容

・転棟先や療養先の相談、支援 ・再発防止、リハビリ、福祉・介護相談等

4. がん相談支援センター

医療ソーシャルワーカー・看護師が、がんに関する不安や悩み、誰にも打ち明けられない気持ち、仕事と治療の両立や病気に対する疑問など、さまざまなご相談をお受けしています。相談の内容により医師、認定看護師、薬剤師、管理栄養士など専門スタッフと連携をとりながら対応します。他院で治療中の方や地域の方からの相談も受け付けています。また、がんに関するパンフレット類（ご自由にお持ち帰りいただけます）や書籍（院内での閲覧のみ）を準備しています。

主な相談内容

・自分のがんや治療について知りたい ・医療者とのコミュニケーションに悩んでいる
・活用できる制度、介護・福祉サービスを知りたい ・治療に必要なお金が心配
・仕事と治療の両立に不安がある ・とにかく不安、話を聞いてほしい
・セカンドオピニオンを受けてみたい ・副作用との付き合い方……など

相談場所・連絡先

	相談場所 西館 1 階	連絡先 ☎ 084-941-5151
1 ・ 3	地域医療連携課 相談室	内線 3136
2	肝疾患相談室	内線 3146
4	がん相談支援センター	内線 3147

《患者サロン》

同じ病気の方と一緒に、日ごろ感じる思いや不安な気持ちを自由に話し合うための会です。医師や認定看護師、管理栄養士などの専門スタッフの参加もあります。

＊「おしゃべり会」月1回

開催日時

第4火曜日 14:00～15:00

開催場所

西館 1 階・がん相談支援センター

＊がん患者さん等向け就労支援 月1回

開催日時

第2木曜日 10:00～15:00

※詳細は相談員にお尋ねください。

＊アピアランスケア相談会 月1回

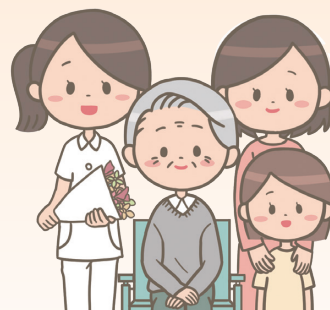
※詳細は相談員にお尋ねください。

※ホームページ・院内ポスターの掲示などで案内しています。

※都合により開催日等が変更・中止になることがあります。

退 院

10. 退院について



1) 退院の手続きについては、原則看護師が説明します。

- 退院前に、**入院診療費請求書・診察券・予約票・退院療養指導計画書・退院処方(必要な方)**をお渡しします。
- 退院療養指導計画書に沿って、日常生活で気をつけることなどについて説明します。
分からないことがありましたら、遠慮なくお尋ねください。

2) 退院時の処方については、退院前日までに医師にご相談ください。

3) 退院日は、原則午前10時までに会計の準備をします。
10時以降になりましたら本館1階・総合受付の会計窓口又は自動精算機でお支払いください。

※自動精算機でお支払いの場合は、**診察券**が必要になります。

※土・日・祝日や午前10時までの退院の場合は、後日の支払いとなる場合があります。



自動精算機

4) テレビ、冷蔵庫等のカードキーは、カードリーダーに差したままにしておいてください。

5) 当院は救命救急センターを併設する急性期病院のため、緊急で重症な方がいつでも入院できる体制を整えておくことが必要となります。緊急または専門的治療が必要となる患者さんのために、午前中の退院にご協力をお願いします。

次の患者さんのベッドを整えるために、午前11時を過ぎたときは、デイコーナーでお待ちいただく場合もありますが、ご了承ください。

6) 退院後の外来受診日には、診察券・予約票をお持ちのうえ、指定時間内に外来の再来受付機に診察券を入れてください。



カードキー



再来受付機

感染対策

11. 感染対策にご協力ください



感染防止のために、患者さんや面会の方も院内の感染対策についてご理解いただき、対策に参加していただくことが必要です。入院中、以下の対策についてご理解とご協力をお願いします。

1 手洗い(手指衛生)

感染を予防するうえで一番大事な対策は、手をきれいにすることです。
下記の場面で必ず手洗い(手指衛生)を実施してください。

院内を出入りする時 → 院内入口のアルコール性手指消毒剤を使用

病室を出入りする時 → 病室入口のアルコール性手指消毒剤を使用

トイレの後 → 石けんによる流水手洗い(加えてアルコール性手指消毒剤)



◆医療者が手指消毒を忘れている場合 → 患者さんから注意の言葉をおかけください。

2 マスクの着用

感染防止のために、入館時からマスクの着用をお願いします。

3 感染症発生時の対応

- 感染の拡大を防ぐため、病室の移動や検査、手術の日程の変更などをお願いすることがあります。
- 患者さんを感染から守り、また、感染を拡大させないために、診察時に職員がエプロンや手袋などを装着します。その際、表示を病室入口やベッドサイドにさせていただくことがあります。ご理解のほどお願いします。

4 面会

面会の方から、入院中の患者さんに感染が拡大するのを防ぐため、下記の点にご協力をお願いします。

- 面会の方もマスク着用のうえ、必ず手指消毒を実施してください。
- 風邪気味の方や下痢、はき気などの症状がある方の面会にご遠慮ください。やむをえず面会される場合は、医師・看護師へご相談ください。
- 面会は原則家族のみ、10分程度でお願いします。また、12歳以下のお子様の面会にご遠慮させていただいております。
- 病室への生花の持ち込みはご遠慮ください。

※面会后3日以内に体調不良等あれば、病棟へご連絡ください。



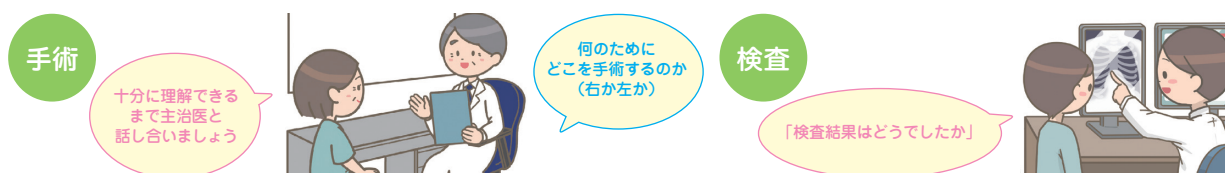
医療安全

12. 患者さん・ご家族の方へのお願い

私たちが安全な医療を提供するため、細心の対策は講じていますが、不確実な要素の多い医療現場では、私たちの注意だけでは限界があることも事実です。安全性をより一層高め、最善の医療を提供できる環境を作るために皆さまのご協力をお願いします。

不安や疑問を質問してください

- 安全な医療を提供するために、わかりやすい説明を心がけていますが、医療者の説明内容がわかりにくい場合は、遠慮せずに疑問や不安な点を質問してください。
- まれではありますが、治療部位や検査内容の誤りが生じる可能性もあります。検査や手術の際には十分な確認を行います、ご自分がどのような手術や検査を受けるかを理解して、疑問がある場合には納得できるまでお尋ねください。
- 検査などを受けられた場合には、患者さんから医師に検査結果をお尋ねください。



1 お名前の確認にご協力ください

患者さんの安全確認のため、入院される全ての患者さんに名前を記入した「ネームバンド」を着用いただいております。

- 点滴や採血、レントゲンなどの検査の前には必ず患者さんのお名前を確認します。
- 患者さんご自身に、名前や生年月日を答えていただきます。
- 医療者が確認を忘れてしまった場合、患者さんから注意の言葉をおかけください。

手術・処置・お薬・検査に関する説明内容をご確認ください

手術・処置・お薬の投与などの治療や検査の実施に当たっては、事前にその内容についての説明を行います。

- 実施される内容によっては、合併症や偶発症などの不利益を伴う場合があります。治療・検査内容をご理解いただき、実施前の確認をお願いします。
- 事前に同意書に署名をいただく場合があります。手術または侵襲を伴う処置・検査では患者さんご本人に限らず、説明に立ち会われたご家族もしくは関係者に署名をお願いする場合があります。
- 不安なことや、わからないことがあれば、遠慮なくお申し出ください。

手術・処置・検査部位の確認にご協力ください

手術・処置・検査を行う前に、患者さんとともに部位の確認をさせていただきます。

- 手術、検査、処置、点眼薬投与などで左右間違いや部位間違いが起こることがあります。実施前に、部位の確認をさせていただきます。できるだけご自分からも部位をおっしゃってください。
- 手術、検査、処置の前に、実施部位にマーキング(目印をつける)をさせていただくことがあります。

2 お薬の申告と持参のお願い

入院中に使用するお薬との飲み合わせや、治療・処置に影響するお薬がないかなどを確認します。

- 処方されている薬、またご自分で購入して飲んでいる薬、健康食品、サプリメントなどがありましたら入院期間内に必要な量だけお持ちください。
- 『お薬手帳』や『説明書』がありましたらお持ちください。
- 薬の飲み方について、注意されていることがありましたらお伝えください。
- 血液をサラサラにする薬やサプリメント、糖尿病の薬、経口避妊薬など、事前に中止しないと検査や手術が受けられない薬等があります。検査や手術を予定されている方は、外来で医師・看護師・薬剤師に必ずご相談ください。



3 アレルギー予防にご協力ください

薬や食べ物で以下のような経験のある方は、医師・看護師・薬剤師・管理栄養士にお伝えください。

- 食べ物でアレルギーをおこした経験のある方
- 薬による副作用(かゆみや発疹など)がでた経験のある方
- 検査時の造影剤などで、かゆみ、顔のほてり、めまい、はき気などの症状の経験がある方
- アレルギー体質のご家族(父母・きょうだいなど)がいる方

※アレルギーカードをお持ちの方は、
医師・看護師・薬剤師にご提示ください。



お伝えいただいた情報をもとに、安全な食事や薬剤の提供に細心の注意をはらいます。
患者さんご自身でも配膳された食事やお薬についてご確認ください。

4 転倒・転落予防にご協力ください

入院中は、不慣れな環境や症状の変化により、筋力や注意力が低下し、思いがけず転んでしまうことがあります。高齢の方は特に注意が必要といわれています。歩行中の転倒やベッドからの転落には十分ご注意ください。

1) 予防のため入院の際に準備するもの

- かかとのある靴(スリッパ等は禁止)
※入院セットご利用時には購入できます。
- 寝巻きやパジャマ(体に合った長さにする)
※入院セットのご利用を推奨しています。(P4参照)
- メガネ(自宅で使用しているもの) 杖 など



2) なぜ転んでしまうの？

- ① 環境の変化
- ② 症状による身体の変化
 - 手術や治療による影響
 - 貧血や発熱など
- ③ 痛み止めや睡眠薬の影響

3) 転倒・転落を防ぐためのお願い

《ベッドサイドで気をつけること》

- 足に力が入るか確認してから動き出す
- 点滴棒やオーバーテーブルなど不安定な物につかまらない
- 夜間は、夜間灯をつける
- ベッドの上で立ち上がらない
- 遠慮せずに看護師を呼ぶ(ナースコール)

《トイレで気をつけること》

- 手すりにつかまる
- トイレが終わったらナースコールで看護師を呼ぶ

4) 転倒・転落をおこすと

- 転倒・転落をおこすと切り傷・打撲にとどまらず出血や骨折など本来の病気以外に新たな治療が必要になる場合があります。

※転倒・転落の危険についての動画をテレビでご覧いただけますので、確認をお願いいたします。



5 医療機器の安全使用にご協力ください

病院内では、検査や治療にさまざまな医療機器が使用されています。また、医療機器を体内に埋め込んでいる患者さんも多くいらっしゃいます。医療機器の誤作動防止にご協力ください。

- 携帯電話により医療機器が誤作動を起こすことがあります。救命救急センター・手術室・集中治療室では必ず電源をお切りください。決められた場所でマナーを守って使用するようお願いいたします。

携帯電話が使用できる場所

- | | | | |
|-------------|--------------|-----------|--------|
| ★病棟デイコーナー | ★病棟各個室 | ★携帯電話室 | ★公衆電話室 |
| ★救命センター家族控室 | ★手術家族待合室 | ★臨床検査室前待合 | |
| ★正面玄関風除室 | ★内視鏡センター階段付近 | | |



- ペースメーカーや埋め込み式除細動器、CVポートなどの医療機器を使用されている方は、検査や治療により誤作動を起こす場合がありますので、必ず医療スタッフにお知らせください。入院時には、検査などに必要ですので「ペースメーカー手帳」をお持ちください。
- 使用中の医療機器に異常を感じたときは直ちに医療スタッフへお知らせください。
- アクセサリー、マニキュア、ジェルネイルなどがMRIや内視鏡検査、治療の妨げになることがありますので、あらかじめ除去してください。

6 迷惑行為により診療をお断りする事があります

次のような迷惑行為があった場合、診療をお断りすることがあります。
場合によっては警察へ連絡させていただきます。最善の医療を提供するためご理解ください。

1. 他の患者さんや職員にセクシャルハラスメントや暴力行為があった場合、もしくはそのおそれが強い場合
2. 大声、暴言または脅迫的な言動により、他の患者さんに迷惑を及ぼし、あるいは職員の業務を妨げた場合
3. 解決しがたい要求を繰り返し行い、病院業務を妨げた場合
4. 建物設備等を故意に破損した場合
5. 受診に必要なでない危険な物品を院内に持ち込んだ場合
6. 入院中、来院中に飲酒した場合
7. 病院敷地内で喫煙した場合



7 身体的拘束について

せん妄や認知症の症状等によって安全な治療の継続が困難である場合、一時的に身体的拘束を行うことがあります。身体的拘束の実施によって安全を確保した後に、ご家族または代理人に電話で同意をいただきます。ご連絡は夜間になることもございますのでご了承ください。

取り組み

13. 福山市民病院の取り組みについて

1) 急性期病院としての地域医療連携

当院は、地域の中核病院として救命救急センターを併設し、急性期医療を担う「急性期病院」です。急性期病院とは、急性発症などを含む重篤な患者さんを中心に、手術をはじめ高度で専門的な治療を短い在院日数で集中して行う病院です。

急性期を過ぎて病状が安定すると、他の病院・医院をご紹介します、転院していただきます。

2) かかりつけ医をもちましょう

かかりつけ医は、当院の医師と違う視点で病気を継続的に管理することができるため、悪化の兆候に早く気付いてもらえたり、十分な相談時間を取ってもらえるなど、患者さんにとって大きな利点があります。かかりつけ医が診断して、検査または入院・手術が必要、もしくは高度で専門的な治療が必要と判断した場合は、当院宛ての紹介状を作成していただきますのでご安心ください。



3) 登録医との共同診療(開放病床)

登録いただいた地域のかかりつけ医と当院医師が共同で診療できる開放病床があります。

かかりつけ医が当院で診察することは、入院患者さんの安心につながることはもとより、共同診療を行うことで、入院中の病状や経過、治療状況を詳細に把握し共有することができ、退院後にかかりつけ医でスムーズに継続して診察していただけます。

切れ目のない医療を提供することで、患者さんに安心した療養生活を送っていただけます。

※共同診療が行われた場合、かかりつけ医と当院に保険で定められた診療費をご負担いただきます。

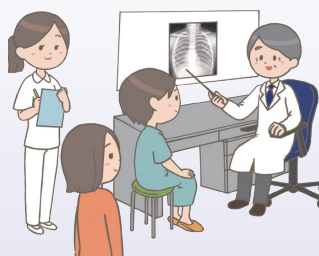
4) 入院・退院を支援する取り組み

入院前の状況を面談により事前に把握することで、入院病棟と連携して看護が継続できるようにしています。また、患者さんが安心して次の病院で療養していただけるよう、看護師は地域の病院を訪問して情報収集や共有をすることで連携強化を図ったり、地域の医療機関の看護師と研修会などを行って学びを深めています。

5) インフォームド・コンセント

医療の内容、治療・検査などの効果・危険性、他の治療法などについて、わかりやすい言葉や方法で説明を受け、医療の内容を十分に理解し、同意した上で適切な医療を選択し、受ける権利が患者さんにはあります。良い治療を行うためには患者さんと病院の双方向のコミュニケーションが大切です。

診療に対して疑問や不明な点がございましたら、遠慮なくお尋ねください。



6) クリニカルパス(診療計画)

疾患や手術ごとに、期日に沿って検査、治療、看護の内容がまとめられたスケジュール表です。医療の標準化とより良い医療を提供するとともに、患者さんには検査や治療内容の理解と積極的な治療参加をしていただくことを目的としています。

お渡しする「クリニカルパス」に目を通していただき、治療内容や入院期間などをご確認ください。ただし、症状により必ずしもスケジュール通りにはいかないことがあります。

7) セカンドオピニオン

現在かかっている医師(担当医)の診断や治療方針について、他院の医師の意見を聞き、治療法の選択の判断材料にする仕組みです。担当医の意見を別の角度から検討することができ、病気に対する理解が深まることにつながります。また、別の治療法が提案された場合は選択の幅が広がり、より納得して治療に臨むことができます。

まずは、担当医に相談して他医への診療情報提供書や検査データ等を作成してもらう必要があります。

なお、セカンドオピニオンは「診療」ではなく「相談」になるため、健康保険給付の対象とはならず、全額自己負担となります。

※ご不明な点等ありましたら、遠慮なく主治医や看護師にお申し出ください。

8) カルテ開示(診療情報の提供)

情報提供を行うことで情報の共有化をはかり、医療の質の向上に努めるとともに、患者さんとの信頼関係を強化する目的で行っております。カルテは患者さんのプライバシーに関する情報が記載されていますので、原則として本人以外の方には開示していません。

情報提供をご希望の方は、本館1階・総合受付「①文書受付」にお申し出ください。



9) 当院における個人情報の利用目的

1. 医療提供

- 当院での医療サービス(問診・診療・検査・治療など)の提供
- 他の病院、診療所、助産所、薬局、訪問看護ステーション、介護サービス事業者等との連携
- 他の医療機関等からの照会への回答
- 患者さんの診療のため、外部の医師等の意見・助言を求める場合
- 検体検査業務の委託、その他の業務委託
- ご家族等への症状説明
- その他、患者さんへの医療提供に関する利用

2. 診療費請求のための事務

- 当院での医療・介護・労災保険・公費負担医療等に関する事務及びその委託
- 審査支払機関へのレセプト(診療報酬明細書)の提出
- 審査支払機関又は保険者への照会
- 審査支払機関又は保険者からの照会への回答
- 公費負担医療に関する行政機関等へのレセプトの提出、照会への回答
- その他医療・介護・労災保険、および公費負担医療に関する診療報酬請求のための利用

3. 当院の管理運営業務

- 患者さんへの医療サービスの向上
- 入退院等の病棟管理での情報を収集
- 医療事故等の報告
- その他、当院の会計など管理運営業務に関する利用

4. 企業等から委託を受けて行う健康診断等における、企業等への結果の通知

5. 当院内において行われる医療実習(救急救命士や医学生・看護学生など)への協力

6. 医療の質の向上を目的とした症例研究

7. がん登録事業に関すること

8. 救急情報に関すること

9. 医師賠償責任保険などに係る、医療に関する専門の団体、保険会社等への相談又は届出等

10. 医療サービスの向上や業務の維持・改善のための基礎資料

11. 監査機関への情報提供

上記のうち、他の医療機関等への情報提供について同意しがたい事項がある場合には、医師にその旨をお申し出ください。

お申し出がないものについては、同意していただけたものとして取り扱わせていただきます。

これらの申し出は後からいつでも撤回・変更等をすることが可能です。

個人情報の取扱いについてのお気づき又は問合せは、本館1階・総合受付「①文書受付」にお申し出ください。

10) 個人情報保護方針

当院は、個人情報の保護に関する法律など法令の規定に基づき、患者さんの個人情報保護に積極的に取り組み、個人情報の利用・取り扱いには細心の注意をはらっています。

11) 学生の実習・臨床研修について

当院は、厚生労働大臣から「臨床研修病院」に指定され、研修のための卒後医師の受け入れを行っています。また、養成教育機関からの研修生、実習生及び看護師、救急救命士、放射線技師、臨床工学技士等の医療関係者を広く受け入れています。法令等に定められた範囲で診療に関わることがありますので、患者さんのご協力をお願いいたします。

12) 治験

当院では、より良い医薬品の開発に協力するため治験に取り組んでいます。

これは国が承認する前の新しい「くすりの候補」、「治療法の候補」の有効性や安全性を調べる臨床試験のことです。患者さんにメリットがあると判断した場合、治験をご紹介しますことがありますのでご検討ください。



14. 施設のご案内

病床数 506床(一般病床500床、感染症病床6床)

一般病床のうち

- 救命救急センター ICU・CCU…8床 HCU…16床 計24床
- 集中治療室…12床 ● 緩和ケア病床…16床

病棟

本館

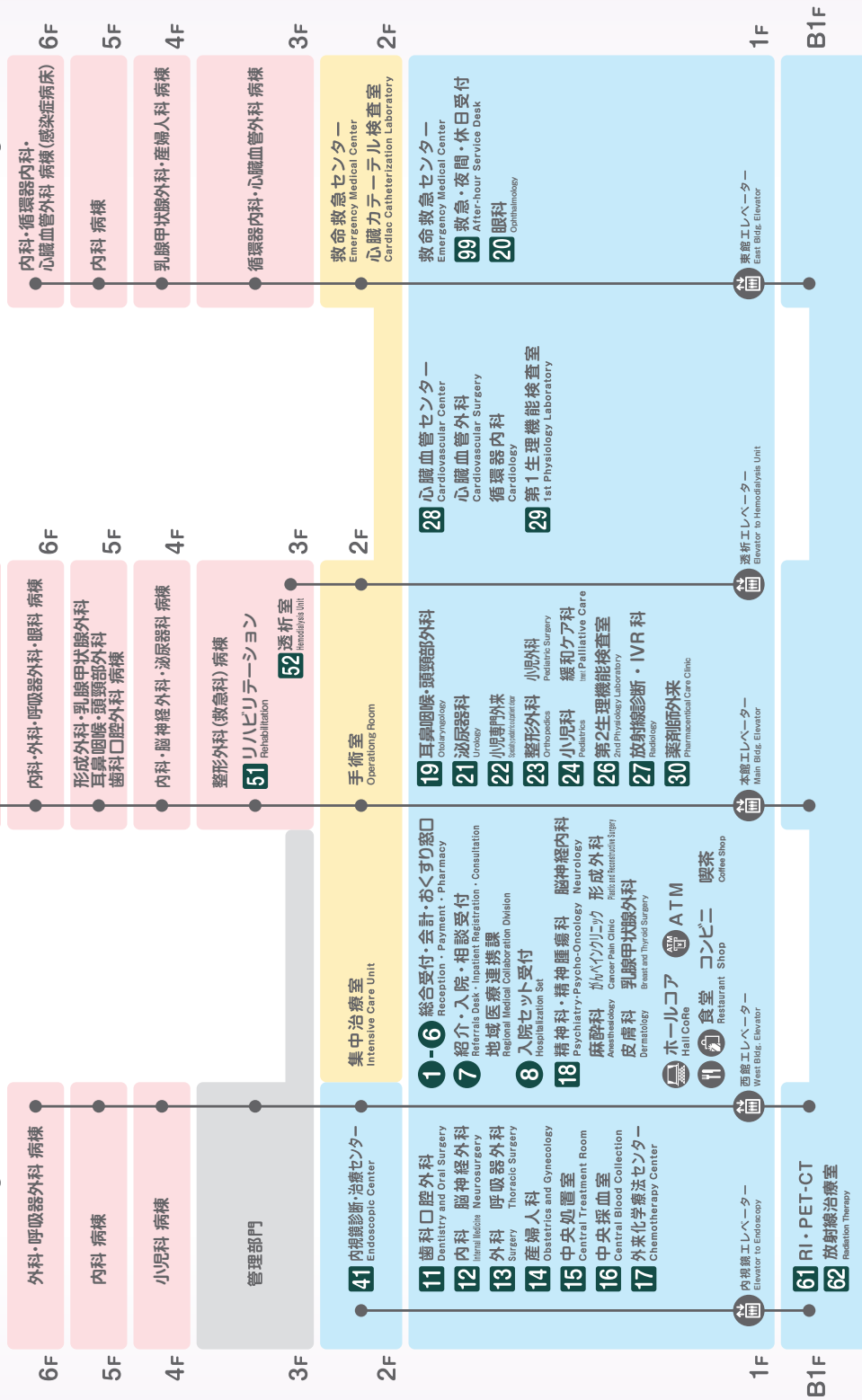
西館

Main Bldg.

東館

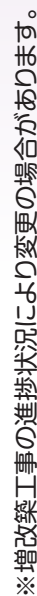
West Bldg.

East Bldg.



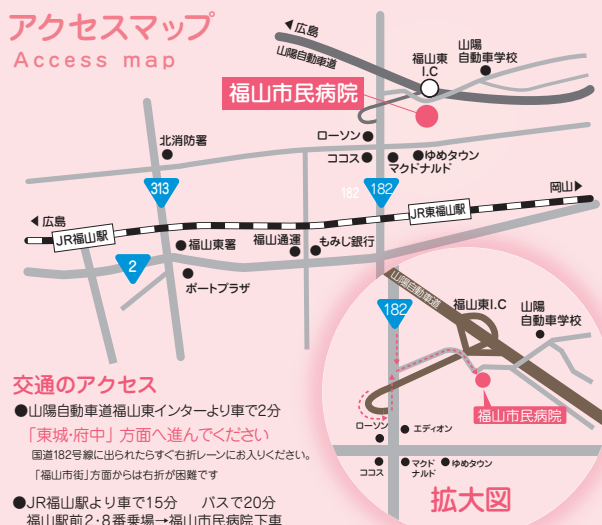
※増改築工事の進捗状況により変更場合があります。

コンビニエンスストア (本館1階)
生活雑貨・介護用品等、ATM
食堂 (本館1階)
〔営業時間〕 月～金／11:00～14:00
(オードヴーストップ 13:30)
〔営業時間〕 24時間



15. 交通案内

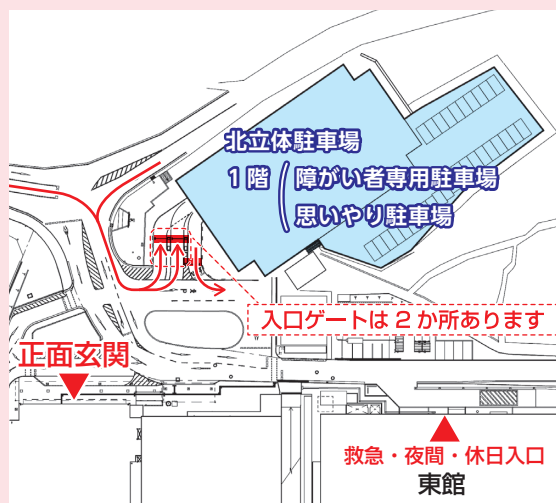
アクセスマップ Access map



交通のアクセス

- 山陽自動車道福山東インターより車で2分
「東城・府中」方面へ進んでください
国道182号線に出られたらすぐ右折レーンにお入りください。
「福山市街」方面からは右折が困難です
- JR福山駅より車で15分 バスで20分
福山駅前2・8番乗場→福山市市民病院下車

患者様用駐車場 (北立体駐車場、1～7階)案内図



・駐車場について

当院に来院される患者さんに優先的に使用していただくために、無断駐車を排除する目的で駐車場を有料としております。
なお、次の場合は無料となりますので、**駐車場へ入る際に取られた駐車券は必ずお持ちください。**

無料認証受付	入院・退院日の送迎で 来られたご家族の方	<p>手順1 各スタッフステーションで 病棟印を受けてください。</p> <p>↓</p> <p>手順2 1階の「無料認証受付」※で 「認証済」印を受けてください。</p>	<p>※無料認証受付</p> <p>【平日(8:30~17:15)】 本館1階 西館1階 総合案内</p> <p>【休日・時間外(17:15~8:30)】 東館1階 救命救急受付</p>
	当院から来院を依頼 された方	<p>注意 病棟印のみでは 無料になりません。</p>	

※無料の方は事前精算機を利用しないでください。

有料	お見舞いの方	<p>入庫後、1時間毎100円 ただし、最初の30分以内無料 (1日上限[当日24時まで]1,200円)</p>	<p>院内自動精算機、またはゲートにおいて精 算してください。 (ゲートでは千円札と小銭のみご利用いた だけます)</p>
	付き添い承認家族 (付き添いを希望されたご家 族の方)	<p>入庫後、24時間毎に500円 ただし、5時間未満の場合は 1時間毎100円</p>	<p>駐車券に、各スタッフステーションで確認印 を押印後、総合受付①「無料認証受付」へ お持ちください。</p>
	身体障害者手帳・療育手帳・ 精神障害者保健福祉手帳を お持ちの方	<p><u>入庫後、最初の2時間は無料</u> 以降1時間毎に100円</p>	<p>駐車券を総合受付①「無料認証受付」へお 持ちになり、手帳をお見せください。</p>